

「土用の丑の日」間に合った

浜松 新仔ウナギ 出荷開始

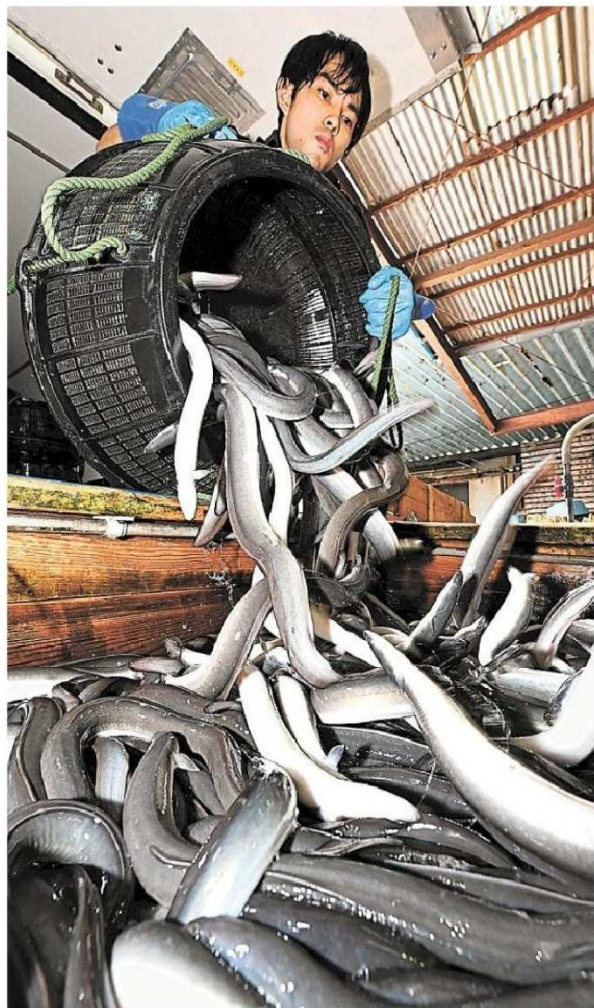
例年より遅く

30日の「土用の丑(う)」の日」を前に19日、短期間で育てた「新仔(しんこ)ウナギ」の出荷が浜松市西区の浜名湖養魚漁協で始まった。30日までに約10トを出荷し、全国のかば焼き店や加工場に発送する。

初日は約3トが持ち込まれた。今年の新仔ウナギは、稚魚のシラスウナギ漁が解禁された2022年12月以降に池入れし、半年ほど養殖されたもの。皮の薄さや身の柔らかさ、小骨が少ないことなどが特徴で、1匹200〜250g。漁協職員が選別場で大きさを別の3種類に分けてかごに入れ、上から水を流した「立て場」で身を引き締めた。

シラスウナギの23年漁期(22年12月〜23年4月)の県内漁獲量は695・7キロと低調で、特に最初の22年12月が4・4キロと少なかった。この影響で、出荷開始は21年の6月中旬、22年の7月上旬と例年よりも遅かった。漁協職員は「シラスウナギ漁が出足で遅れて心配だったが、なんとか土用の丑の日に間に合ってくれた」と胸をなで下ろした。取引価格は「昨年より1割ほど高くなっている」という。

(浜松総局・大山雄一郎)



出荷のため選別作業用の台に移し替えられる新仔ウナギ=19日午後、浜松市西区(浜松総局・山川侑哉)

記事を読んで、問いに答えましょう。

①「新仔ウナギ」とは、どんなウナギですか。

(

)

②2023年の「土用の丑の日」は、何月何日ですか。(月 日)

③漁協の職員はどんなことを思いながら仕事をしているのか、記事と写真を見て答えましょう。

(

)

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 中村 都(静岡市立千代田小学校 教諭)
(小学校中学年～高学年／総合)

「土用の丑の日」間に合った

浜松 新仔ウナギ 出荷開始

例年より遅く

30日の「土用の丑(う)」の日」を前に19日、短期間で育てた「新仔(しんこ)ウナギ」の出荷が浜松市西区の浜名湖養魚漁協で始まった。30日までに約10トを出荷し、全国のかば焼き店や加工場に発送する。

初日は約3トが持ち込まれた。今年の新仔ウナギは、稚魚のシラスウナギ漁が解禁された2022年12月以降に池入れし、半年ほど養殖されたもの。皮の薄さや身の柔らかさ、小骨が少ないことなどが特徴で、1匹200〜250グラム。漁協職員が選別場で大きさを別の3種類に分けてかごに入れ、上から水を流した「立て場」で身を引き締めた。

シラスウナギの23年漁期(22年12月〜23年4月)の県内漁獲量は695・7キロと低調で、特に最初の22年12月が4・4キロと少なかった。この影響で、出荷開始は21年の6月中旬、22年の7月上旬と例年よりも遅かった。漁協職員は「シラスウナギ漁が出足で遅れて心配だったが、なんとか土用の丑の日間に合ってくれた」と胸をなで下ろした。取引価格は「昨年より1割ほど高くなっている」という。

(浜松総局・大山雄一郎)



出荷のため選別作業用の台に移し替えられる新仔ウナギ=19日午後、浜松市西区(浜松総局・山川侑哉)

記事を読んで、問いに答えましょう。

①「新仔ウナギ」とは、どんなウナギですか。

例 ・稚魚のシラスウナギを半年ほどの短期間で養殖したウナギ

・皮の薄さや身の柔らかさ、小骨が少ないのが特徴で1匹200グラムから250グラムのウナギ など

②2023年の「土用の丑の日」は、何月何日ですか。(7 月 30 日)

③漁協の職員はどんなことを思いながら仕事をしているのか、記事と写真を見て答えましょう。

例 ・「土用の丑の日」に間に合って良かった。

・みんなにおいしく食べてもらいたいな。 など

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 中村 都(静岡市立千代田小学校 教諭)
(小学校中学年～高学年／総合)